

江東区都市計画マスタープラン基本方針(素案)の概要

第1章 改定の考え方

【改定の背景】

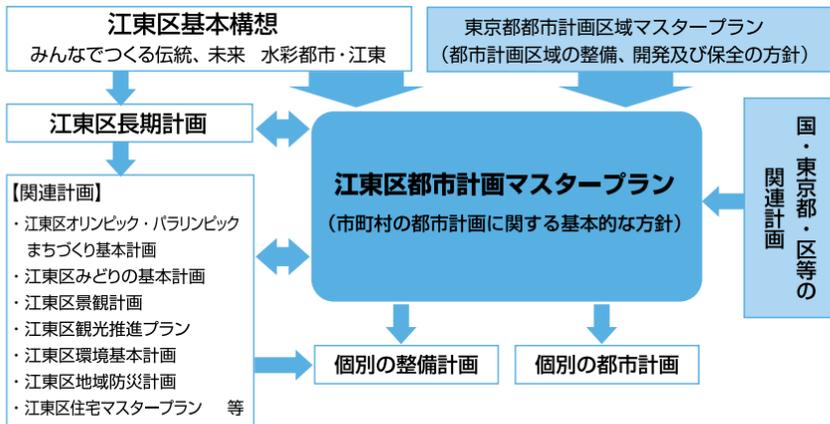
現行の都市計画マスタープラン策定後、自然災害の頻発・激甚化、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催決定、地下鉄8号線の延伸計画の進展など、江東区を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。また、大規模マンションなどの建設に伴い、江東区の人口は増加しており、現在約52万人となっています。こうした状況を受け、時代に即した新たなまちづくりの指針として都市計画マスタープランを策定します。

【計画の位置付けと役割】

都市計画マスタープランは、都市計画法(第18条の2)において「市町村(特別区を含む)の都市計画に関する基本的な方針」として位置付けられています。また、江東区基本構想及び東京都が策定する「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(都市計画区域マスタープラン)」に即して定められます。

一方で、さまざまな社会情勢の変化や災害リスクに対応しながら、持続可能で活力ある地域づくりを進めるために、都市計画マスタープランの役割は多様化しています。主な役割は、①～③の通りです。

- ①江東区長期計画及び他の分野別計画などと整合させることで、防災、道路交通、住環境など、都市づくり関連施策の総合的ガイドラインとしての役割を担います。
- ②都市計画における土地利用、市街地整備、都市施設などのハード的な都市整備分野のみならず、環境負荷の軽減、防災性の向上・復興まちづくりの事前準備、都市のバリアフリー化、良好な景観の保全・形成など、さまざまな社会的課題の解決に向けて、ソフト的なまちづくり分野の施策も含めた方針を示します。
- ③多様な主体による協働のまちづくりを推進するための指針を示します。
上記を踏まえ、中長期的な視点に立った都市の将来像を明確にし、その実現に向けた大きな道筋を示します。



【目標年次】

都市計画マスタープランの目標年次は、概ね20年後とします。なお、本計

江東区都市計画マスタープラン基本方針(素案)へのご意見をお聞かせください。

意見募集締切:1/15(水)必着

氏名	
住所	
年齢	20代以下 30代 40代 50代 60代 70代以上

※いただいた個人情報は、本パブリックコメント以外の目的には使用しません。

画は今後の社会情勢などの変化に柔軟に対応するため、必要に応じて適宜見直しを行う予定です。

第2章 まちづくりの現況と課題

江東区のまちづくりの現況と課題について、人口動態、土地利用、道路・交通、住環境・健康、水辺と緑、景観・観光・交流、環境、安全・安心の部門に分けて整理します。

第3章 まちづくりの将来像

江東区基本構想における『目指すべき江東区の姿』を踏まえ『将来都市像を考える視点』を設定し、都市計画マスタープランにおける5つの『目指すべき江東区のまちの姿』と『将来都市像』を示します。

第4章 将来都市構造

江東区における社会情勢の変化を踏まえ、目指す将来都市構造を定めます。区民の生活と活動を支える都市基盤や都市機能を計画的かつ的確に誘導するため、都市構造の構成を、拠点(核)、軸、ゾーンの3つから示します(1面「江東区目指す将来都市構造」を参照)。

※都市機能とは、住居、商業、業務などの人々が社会生活を営むうえで必要となる施設を指します。

第5章 部門別まちづくり方針

江東区における、(1)土地利用、(2)道路・交通、(3)住環境・健康、(4)水辺と緑、(5)景観・観光・交流、(6)環境、(7)安全・安心の7つの部門のまちづくり方針を示します。

第6章 地区別まちづくり方針(来年度策定)

区民の居住状況や土地利用などを考慮して、区を7つの地区に区分します。地区別ワークショップ等を踏まえ、7つの地区それぞれのまちづくり方針を示します。

令和元年度の検討範囲

目指すべき江東区の姿(江東区基本構想)	江東区基本構想が掲げる将来像 「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」 ○ 水と緑豊かな地球環境にやさしいまち ○ 未来を担う子どもを育むまち ○ 区民の力で築く元気に輝くまち ○ ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち ○ 住みよさを実感できる世界に誇れるまち
目指すべき江東区のまちの姿	1 災害や環境変化等に対する回復力の高い持続可能なまち (持続性、回復性、環境性) 2 多様な人が住みやすく、健康に生き生きと暮らせるまち (包摂性、多様性、レガシーの活用) 3 水辺と緑に彩られ、快適で心豊かな生活が享受できるまち (CIG、快適性) 4 交流・活動によるにぎわいが絶えず、成長し続けるまち (空間性、交流性、成長性) 5 区民の力で新たな価値を創造し、未来に発信するまち (先進性(スマートシティ・イノベーション創出)、協働性)
将来都市像	持続的に発展する共生都市
将来都市構造	○拠点 ・都市核 ・広域核 ・地域核 ・交流拠点・新駅拠点 ○都市軸 ・東西都市軸 ・南北都市軸 ○その他の軸 ・水彩軸 ・湾岸軸 ・公共交通ネットワーク
将来の姿・目標	○ゾーン ・深川地域【深川北部地区・深川南部地区】 歴史と文化、多様な都市機能が調和する複合都市 ・城東地域【城東北部地区・城東南部地区】 良好な住環境の誘導を推進する複合市街地 ・南部地域【南部地区西】 高度な都市機能を集積し、新たな価値を創造する複合市街地 【南部地区東】 土地利用転換の誘導による快適でにぎわいのある複合市街地 【湾岸地区】 産業・物流機能、スポーツ・レクリエーションが調和する市街地(新砂、夢の島、新木場)と港湾・埠頭地区(若洲・その他臨港地区)
部門別まちづくり方針	(1) 土地利用 持続的に成長する多世代多機能の複合都市 (2) 道路・交通 多様な地域間を連携し快適に移動できるネットワーク都市 (3) 住環境・健康 多様な暮らしを育む定住健康都市 (4) 水辺と緑 水辺と緑に彩られ交流と活動を生み出す快適な都市 (5) 景観・観光・交流 伝統文化と自然が織りなす美しい国際観光都市 (6) 環境 先端技術の導入や環境に配慮した生活による持続可能な都市 (7) 安全・安心 緊急時にも適時的確に対応する回復力の高い都市

地区別まちづくり方針 令和2年度の検討範囲

